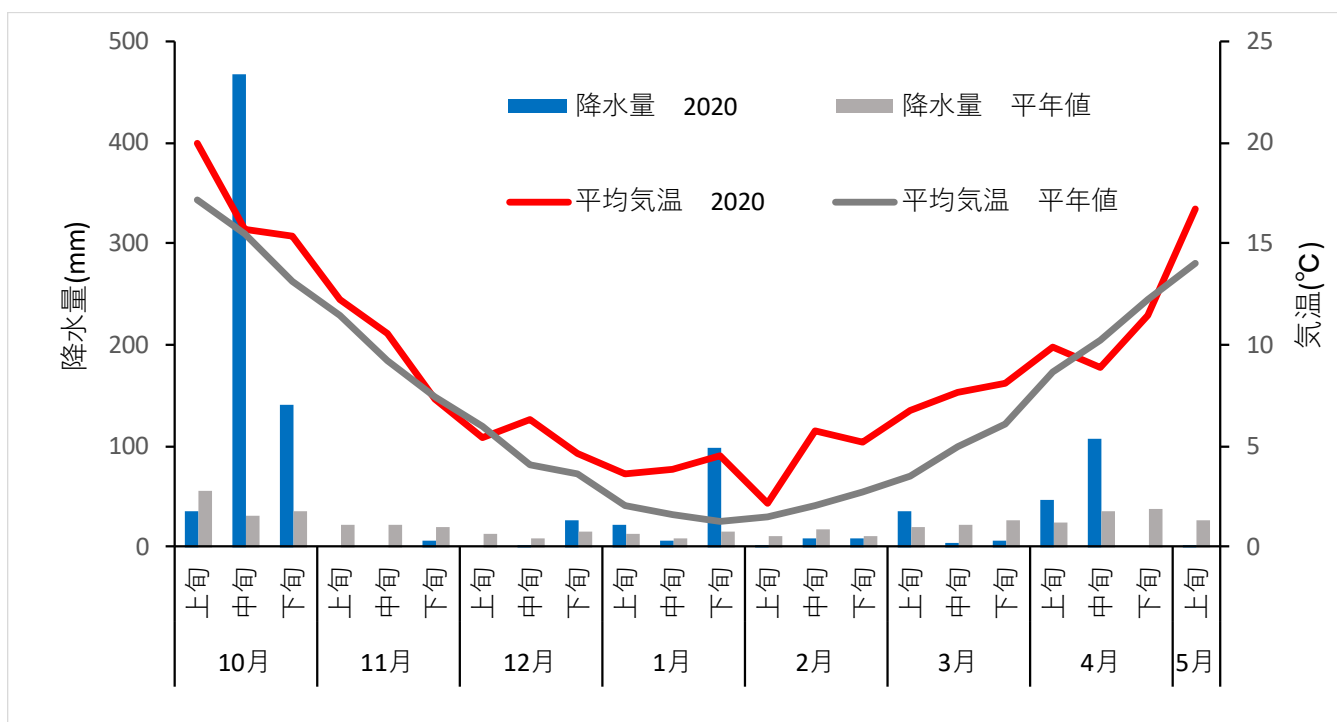


## 栽培管理のポイント

適期刈り取りに努めましょう！

### 1 麦の生育期間における気象経過 (10/上～5/上) ※アメダス地点 仙台



### 2 東北地方の向こう1か月の天候の見通し (5/14 仙台管区气象台発表)

#### 予報のポイント

- 寒気の影響を受けやすいため、向こう1か月の気温は平年並か低く、期間の前半はかなり低くなる可能性があります。
- 低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

### 3 今後の生育ステージの予想

県生育調査ほ (ホワイトファイバー, 大和町落合) における出穂期は、播種の遅れ及び暖冬傾向で経過したものの4月中下旬が低温で経過したことから、前年より8日遅れの5月3日となりました。

出穂期から予想される成熟期は表のとおりですが、仙台管区气象台発表の向こう1か月の天候の見通しでは、気温が平年並か低いと予想されています。生育ステージが遅れることが予想されますので、今後の生育状況に注意しましょう。

表 生育ステージ

品種（大麦）	調査地点	調査年	播種日	出穂期	成熟期 予想
ホワイトファイバー （県生育調査ほ）	大和町落合	本年	11/18	5/3	6/12～17
		前年	11/ 3	4/25	—
シュンライ	仙台市若林区 三本塚	本年	11/12	4/22	6/1～6
ホワイトファイバー		本年	11/10	4/26	6/5～10

※本年：令和2年産 前年：令和元年産  
 ※成熟期は、出穂後40～45日として予測

#### 4 今後の栽培管理～成熟期の判断、適期刈り取り～

麦の収穫は収量や品質面を考慮し、早刈りや刈遅れのないよう麦の生育状況に合わせて行いましょう。

- ・成熟期は「茎葉及び穂首部が黄化し、粒はほぼロウぐらいの硬さに達した日」となります。
- ・登熟日数は、大麦で出穂後約40～45日、小麦では出穂後約45～50日ですが、登熟期間の気象により変動します。生育のバラツキが多いほ場では、生育の正常な部分に焦点を合わせ判断しましょう。
- ・この時期の穀粒水分は、概ね32～45%と幅があります。収穫作業は、子実水分が30%以下（成熟期後3日頃）での収穫に心がけましょう。
- ・穂発芽性について、シュンライは「易」（生じやすい）、ホワイトファイバーは「中」（やや生じやすい）となっているので、刈り遅れに注意しましょう。
- ・赤かび病の被害が見られるほ場は、健全な子実への被害粒の混入を防ぐため、刈り分けをしましょう。
- ・収穫期は梅雨の時期と重なるので、貴重な晴れ間を有効に活用できるよう、作業計画を立て効率的に作業しましょう。
- ・やむを得ず高水分で収穫する場合は、損傷粒を防ぐためこぎ胴の回転数を低め（稲用）に設定しましょう。
- ・収穫後は、熱損粒の発生を防ぐため速やかに乾燥機に張り込みましょう。

#### ■令和2年春の農作業安全確認運動実施中（令和2年4月1日から令和2年6月30日まで）

運動スローガン 「見直そう！農業機械作業の安全対策」

近年、様々な農業機械の普及、農業従事者の高齢化等により、機械操作のミス、過信と慣れによる安易な作業が重大事故に結びつき、依然として農作業死亡事故が発生しています。

農作業死亡事故を減少させるため、安全対策を強化して一層の事故防止に取り組みましょう。